

事業所名		あんぶれら				支援プログラム		作成日	2025 年	3 月	1 日
法人（事業所）理念		脳科学に基づいた教材を使いお子様の苦手な部分にアプローチし、発達の支援を行う。									
支援方針		発達の違いやスピードの違いを特性と捉え、けっして焦らずに成長を見守りながら支援を行う。									
営業時間			9 時	15 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	トイレトレーニング、トイレの使い方、手洗い、うがい等を自立に向けて支援を行う。									
	運動・感覚	粗大運動、微細運動を取り入れた、リトミックを行う。 センサリー教材を用いて、感覚へのアプローチを行う。									
	認知・行動	パズルや積み木を使った空間認知のトレーニングを行う。 気持ちの切り替えや癇癪への対応についてのトレーニングを行う。									
	言語 コミュニケーション	口角トレーニングや発音トレーニングを行う。 グループや先生とのやり取りを中心にコミュニケーションを高める。									
	人間関係 社会性	集団療育を行う中で、友達関係や場に応じたやりとりの支援を行う。									
家族支援		定期的に保護者との面談を行う。また、専門的職員（公認心理師）の配置を行う。					移行支援	保護者の希望により、地域の保育園に通園を希望する際には支援を行う。			
地域支援・地域連携		児童が地域の保育園や学校に通園・通学している場合などは保育園や学校との連携を行う。また、地域の小学校教員等との交流を行う。 講師を招いた講演会を開催し、地域の方との交流会を行う。					職員の質の向上	事業所内研修を外部講師を招き（最低 4回/年）行っている。 また、外部で開催する講習会に研修会に参加し、職員の技術及び知識の向上に努めている。			
主な行事等		年長児キャンプ(5月), 親子運動会(7月), 就学を考える会(11月), はばたきの集い(3月)									